

「エラー：共通データベースの作成に失敗しました。(002)」の対応方法

e-TAX グループ通算や eConsoliTax の起動時に、以下のエラーが発生してシステムが起動できない場合、税率マスターの DB(=TCTMSTR_CTRL)の登録がうまくできていないか当該 DB が破損している可能性があります。



お手数ですが、以下の方法で税率マスターDB の再登録を行っていただき、システムが起動できることをご確認ください。

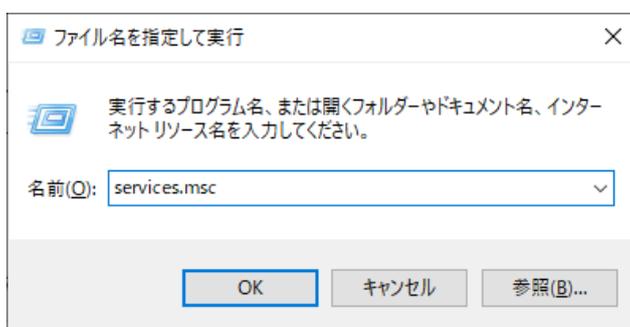
【ご対応方法】

e-TAX グループ通算や eConsoliTax のシステムは終了した状態で、以下の処理を行ってください。

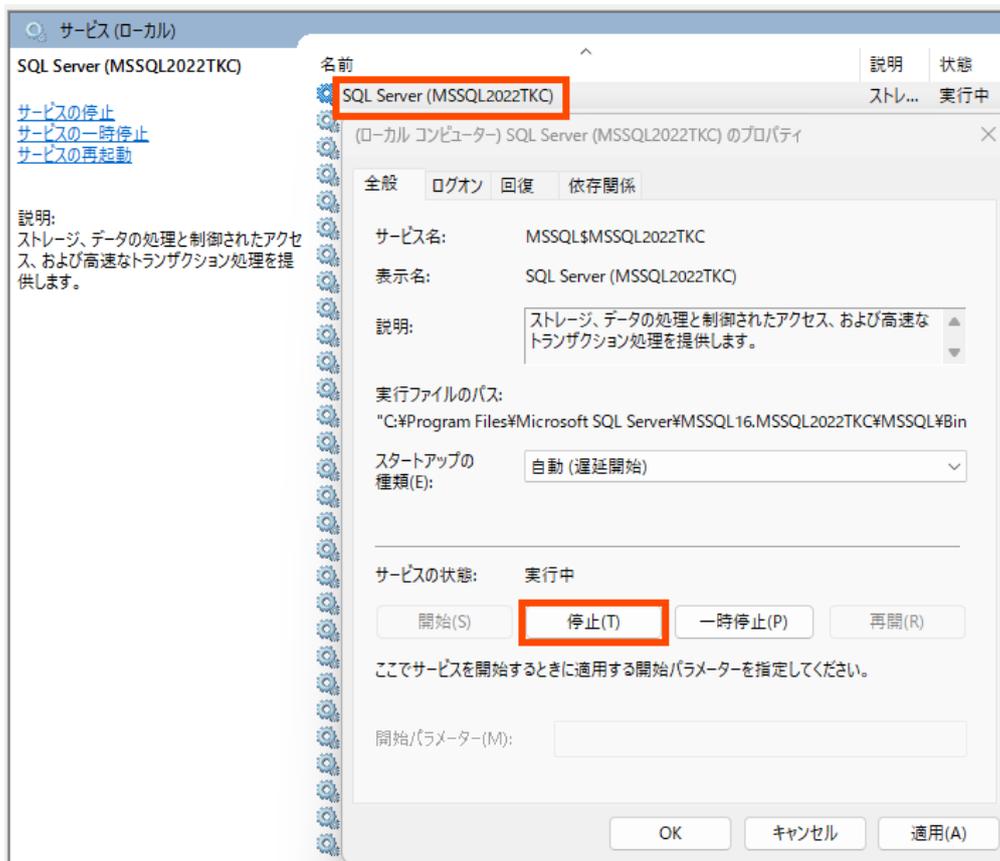
I 税率マスターDB の削除

1. SQLServer サービスの停止

- (1) 「Windows キー + R」で[ファイル名を指定して実行]の画面を表示します。
※「Windows キー」は、キーボード左下の Windows のロゴマークのキーです。
- (2) [名前]欄に「services.msc」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
※「」は入力不要です。
※[ユーザーアカウント制御]が表示される場合は、[はい]ボタンをクリックします。



- (3) [サービス]の画面が表示されます。
- (4) 「SQL Server(MSSQL2022TKC)」の行をダブルクリックします。
※「SQL Server(MSSQL2022TKC)」の行が表示されない場合は、「SQL Server (MSSQL2014TKC)」の行をダブルクリックします。
※「SQLServer(MSSQL2022TKC)」及び「SQLServer(MSSQL2014TKC)」の行が表示されない場合は、「SQLServer((MSSQL2008TKC)」の行をダブルクリックします。
- (5) プロパティ画面の[全般]タブの[停止]ボタンをクリックし、上記(4)で選択したサービスを停止します。



【ご参考】 SQLServer のサービスを停止できない場合

[開始]や[停止]ボタン等が非活性でクリックできない場合は、貴社のグループポリシー等により、設定を変更できないように制限されている可能性があります。

この場合は、貴社のシステム管理者の方にご相談いただき、一時的に SQLServer のサービスを停止してください。

※Windows の管理者(Administrator)権限を持つユーザーで処理を実施すれば設定を変更できる可能性があります。管理者権限を持つユーザーのご利用については、貴社のシステム管理者の方にご相談ください。

(6) [サービスの状態]が「停止」になったら、プロパティ画面を閉じます。

(7) [サービス]の画面を右上の[×]ボタンで閉じます。

2. 税率マスターDB ファイルの削除

(1) 「Windows キー + E」で[エクスプローラ]の画面を開きます。

(2)以下の「DATA」フォルダを開きます。

C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL16.MSSQL2022TKC\MSSQL\DATA

※上記1(5)で「SQL Server(MSSQL2014TKC)」を停止した場合は、以下のパスになります。

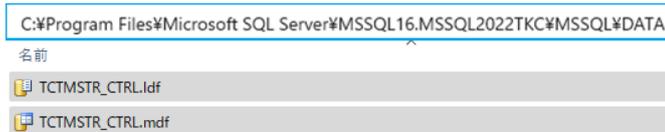
C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\MSSQL12.MSSQL2014TKC\MSSQL\DATA

※上記1(5)で「SQL Server(MSSQL2008TKC)」を停止した場合は、以下のパスになります。

C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\MSSQL10_50.MSSQL2008TKC\MSSQL\DATA

(3) 以下の2つのファイルを削除します。

- ① TCTMSTR_CTRL.mdf
- ② TCTMSTR_CTRL.ldf



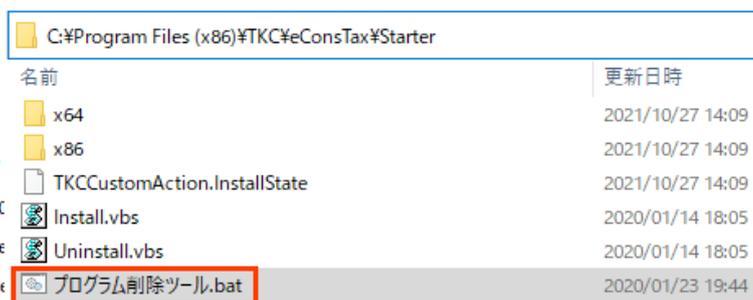
(4) PC を再起動します。

※PC を再起動できない場合は、上記1.(5)の「SQLServer(MSSQL2022TKC)」(もしくは「SQLServer(MSSQL2014TKC)」または「SQLServer(MSSQL2008TKC)」)のプロパティ画面を表示し、[開始]ボタンをクリックして、当該サービスを再開させます。

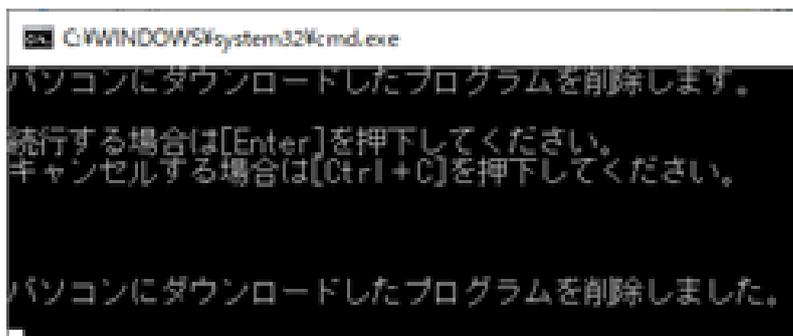
II システムの削除

1. 削除ツール(bat)の実行 ※Webメニューを利用している場合

- (1) 「Windows キー + E」で[エクスプローラ]の画面を開きます。
- (2) エクスプローラで、以下の[Starter]フォルダを開きます。
C:¥Program Files (x86)¥TKC¥eConsTax¥Starter
- (3) 同フォルダ内の「プログラム削除ツール.bat」をダブルクリックして実行します。



- (4) コマンドプロンプトが起動し、黒い画面が表示されましたら、[Enter キー]を押下します。
- (5) 1分程度するとプログラムを削除した旨のメッセージが表示されるので、[Enter キー]を押下し、コマンドプロンプトの画面を閉じます。



【ご参考】 ショートカットからシステムを利用している場合のシステム削除方法
(=ISO でシステムをインストールしている場合)

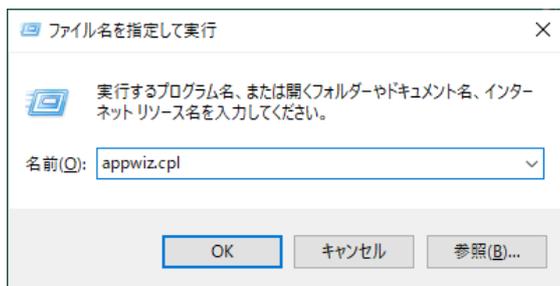
以下の方法でシステムを削除します。

※税率マスターDB は、e-TAX グループ通算や eConsoliTax で共通で使用しているため、どちらのシステムでも共通のエラーとなります。
また、どちらのシステムの入れ直しを行っても解消できます。

① 「Windows キー + R」 で[ファイル名を指定して実行]の画面を開きます。

② [名前]欄に、「appwiz.cpl」と入力し[OK]ボタンをクリックします。

※「」は入力不要です。



③ エラーが発生した年度のシステムと運用管理システムの行を右クリックし、「アンインストール」をクリックし、システムをアンインストールします。

※令和 X 年度は、起動時にエラーが発生したシステム年度です。

※e-TAX グループ通算でエラーが発生した場合は、以下の 1)a.と 1)b.をアンインストールします。

※eConsoliTax でエラーが発生した場合は、以下の 2)a.と 2)b.と 2)c.をアンインストールします。

1)グループ通算申告システム(e-TAX グループ通算)の場合

- a.令和 X 年度グループ通算申告システム(e-TAX グループ通算)
- b.グループ通算申告システム運用管理システム

2)連結納税システム(eConsoliTax)の場合

- a.令和 X 年度連結納税システム(eConsoliTax)
- b.令和 X 年度 TKC 電子申告システム(e-TAX 連結納税)
- c.連結納税システム運用管理システム

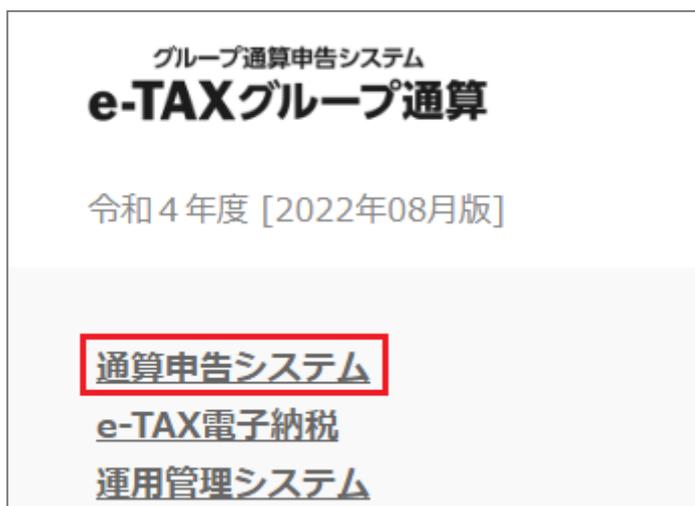
Ⅲ システムのインストールと起動

1. システムのインストール

(1) Web メニューにログインします。

(2) エラーが発生した年度の「通算申告システム」（「連結納税システム」）のリンクをクリックします。

※以下は、最新版が令和4年度で、当該年度の e-TAX グループ通算の起動時にエラーが発生した場合の例



(3) 当該年度のシステムプログラムのダウンロードとインストールが自動で行われ、システム DB の再作成も自動で行われます。（税率マスターDB も再作成されます。）

(4) エラーが解消され、当該年度のシステムが起動することを確認します。

【ご参考】ショートカットからシステムを利用している場合のインストール方法
(=ISO でシステムをインストールしている場合)

ISO イメージファイルからシステムをインストールします。

① グループ通算申告システム(e-TAX グループ通算)の場合

以下から対象年度の e-TAX グループ通算の ISO を取得し、システムのインストールとプロダクトキーの登録を行ってください。

・Web メニュー>オンライン Q&A>コンサルティング・ツール一覧>
「システムインストール関連」―「e-TAX グループ通算 ISO イメージ
ファイル(.zip)のお申込み」

システムのインストール画面では、以下の 1)→2)の順番にボタンを押下し、
システムのインストールとプロダクトキーの登録を行ってください。

※プロダクトキーは既に登録済のため求められません。

ご利用の PC 上のシステム DB が再作成されます。

1)[システムの登録・更新]欄の[登録・更新]ボタンのクリック

2)[プロダクトキー等の登録]欄の[登録]ボタンのクリック



② 連結納税システム(eConsoliTax)の場合

[こちら](#)のオンライン Q&A から対象年度の連結納税システム(eConsoliTax)
と TKC 電子申告システム(e-TAX 連結納税)をインストールしてください。

※インストール画面の処理は、上記①の e-TAX グループ通算と同様です。

以上